

第2回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和6年度 第2回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和6年8月6日（火）14：00～15：38
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 5A会議室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

6. 出席者

（1）委員

美谷薫委員、藤井正博委員、林田史朗委員、三船國弘委員、頼金豊子委員、大森成順委員、長野美津子委員、永富靖人委員、松田クニ子委員

*欠席委員 大野繁治委員、野見山桂子委員、大里理子委員

（2）執行機関

財政課長 赤坂晋、財政課長補佐 田中ひふみ、行政改革推進係長 渡辺亮

行政改革推進係 太田野与香

7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

8. 議題及び審議の内容

【議題】

- （1）前回審議会の振り返り
- （2）第4次行政改革令和5年度実施状況について（審議）
- （3）外部評価の実施方法について
- （4）その他

【審議の内容】

（1）前回審議会の振り返り

前回の審議会の内容について、説明を行った。（事務局）

前回の審議会の内容に関する説明について、次のような質問及び意見が出た。（委員）

- ・財務書類四表について、民間でいう貸借対照表と損益計算書はどれにあたるのか。
→貸借対照表は作成している。民間の損益計算書にあたるのが行政コスト計算書である。分析として、住民一人当たりの資産額を算定する資産形成度、将来世代の負担配分である世代間公平性、住民一人当たりの行政コストを算出する効率性などが記載されている。
→昨年度は経常収支率が100%を超えたという報道があった。今年度決算では改善されたのか。
→現時点では公表できないため、9月議会後に公表する。
- ・ふるさと納税について、金額は順調に増加傾向ではあるが、近隣自治体で寄付額が100億円を超えているところがあるが、今後の展望は。
→増収に向けて取り組んでいる。
- ・返礼品の上位が洗剤関連なのは意外であった。関連企業があるのか。地域の農産品が上

位に来るよう取り組むことができないか。

→誘致企業に洗剤製造業者がある。コロナ以降急増している。農産品は生産量の問題もあり、安定供給が難しい。ランキングに入っている農産品は県産品（県で返礼品として使用できるもので、嘉麻市産品ではない）である。

・メンタル等による休職者が1割程度いる現状をどのように捉えているか。

→近隣自治体との比較としては難しいが、多い状況である。改善する必要があると認識している。

(2) 第4次行政改革令和5年度実施状況について

第4次行政改革実施計画の令和5年度実施状況について、資料に沿って説明を行った。

(事務局)

第4次行政改革実施計画の令和5年度実施状況について、次のような質問及び意見が出た。

(委員)

・項目16「学校用務員業務の民間委託等」について、学校長や教職員からの指揮命令により行う業務が多数であり、令和7年度の取組内容を用務員業務の整理にするという目標値の改定もあるが、実際どの程度進捗しているのか。令和4年度の人材派遣会社からの派遣実施は行われているのか。

→全く進捗していない。派遣実施も行われていない。

・項目17「各種申請等処理事務・定型事務の民間委託等」について、達成目標等目標値の改定もあるが、実際どの程度進捗しているのか。

→業務の洗い出しまでは行っているが、費用対効果が見込める状況ではなかったため、目標値等の修正が必要となった。

・項目19「保育所給食調理業務の民間委託等」について、2カ所とあるが、もう1カ所の進捗は。

→詳細を把握していないため、確認のうえ回答する。

・民間委託は、全体として事業進捗が難しい状況である。目標設定当初から懸念された部分ではある。民間委託をすることで市として効果が見込めるのかは、目標設定に際しても十分精査してほしい。民間委託を行うメリットとして、市は、民間活力導入による市民の利便性向上といったことを掲げるが、そうではなく、人的要因（職員数が足りない）と人為的要因（民間のスキルやノウハウを利用する）である。市民の税金を使用している以上、民間委託を行った後も計画通り進捗しているか、委託している人数を減らして委託料を減額していくかなどの検証が必要。

・項目26「社会体育施設の指定管理者の導入」については、現状のまま指定管理を導入するのは、経費の問題上難しいということか

→ご意見のとおりである。老朽化している施設の改修費といった問題もあり、用途廃止や類似施設の統合を図ったうえでの検討ということになる。

・項目27「市有財産の売却等の推進」について、用途廃止で更地となり、そのままの状

況である土地が散見されるが進捗はどうか。特に、山田高校跡地など進展はないのか。

→庁舎跡地などは、跡地利活用検討委員会で検討されている。山田高校跡地については、詳細を把握していないため、確認のうえ回答する。

・項目30「行政手続きのオンライン化」について、行政内部のデジタル化なのか、市民に対するデジタル化なのか。

→その両方である。

→電子決裁が遅れるといったことはないか。

→市長決裁の一部については、そのような状況となることがある。

→税の確定申告において、飯塚税務署管内は、他の田川、直方税務署管内の自治体に比べて、申告書の電子データ送付の普及率が低い状況であるが、この原因は何か。

→詳細を把握していないため、確認のうえ回答する。

・項目32「学校授業のICT等の活用」について、目標値等の改定はオンライン英会話の実施をAIドリルの活用という、別の手段で実施するということか。

→ご意見のとおりである。

(3) 外部評価の実施方法について

外部評価の実施方法について、説明を行った。

(4) その他

特になし

9. 配布資料

- ・令和6年度第2回嘉麻市行政経営推進審議会次第
- ・令和4年度嘉麻市財務書類（資料5）
- ・ふるさと納税関連資料（資料6）
- ・職員適正化関連資料（資料7）
- ・外部評価の実施方法について（資料8-1）
- ・事務事業評価表※二次評価前（資料8-2）